

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	FLOW香芝		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりのニーズに応じた個別支援 子どもの発達段階や特性、家庭環境を踏まえた個別支援計画を作成し、個々に応じた支援を実施している	PDCAサイクルを活用した支援の見直し モニタリングや職員間での情報共有を行い、支援内容の振り返りと改善を繰り返す事で、より適切な支援に繋がっている	支援内容の評価と質の向上 PDCAサイクルを継続的に活用し、支援内容の検証と改善を行いながら、より質の高い支援の提供を目指す
2	専門職による多角的な支援体制 専門職を多く配置し、多職種の視点から子どもの発達や生活面を総合的に捉えた支援を行っている	多様な社会資源との繋がりと家庭との連携を重視した支援 面談などを通して保護者と情報共有を行い、家庭での様子や困りごとを踏まえた支援に繋がっている また、先を見据えた課題や将来像を想定しながら、多方面から支援を行っている	多職種連携のさらなる強化 関係機関や専門職との連携を深め、子どもの発達や生活全体を支える支援体制の充実を図る
3	支援の質向上に向けた職員の研鑽 社内研修や外部研修、各種学会への参加を通して専門性の向上を図り、支援の質の向上に努めている	各専門職としての自己研鑽の機会を積極的に持つ 学んだ事を実践に活かしているように努めている 保護者の方により良い支援を提供することができるための学びを深めている	専門性向上のための研修機会の拡充 社内研修の充実や外部研修、学会参加を積極的に行い、最新の知見を支援に活かしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容のさらなる専門性の向上 子どもの特性や発達段階が多様である為、より専門的な知識や支援方法の充実が求められている	専門知識や支援技術のさらなる習得の必要性 職員の経験や専門分野が異なる為、支援に関する理解を深めるための継続的な研修や学びが必要である	研修や学会参加による専門性の向上 社内研修の充実や外部研修、学会等への参加を通して、専門知識や支援技術の向上を図る
2	支援内容の共有や統一の強化 職員間での情報共有は行っているものの、支援方法の統一や理解の深まりについては、より充実させていく必要がある	支援時間や環境面の制約 限られた時間の中で個々の子どもに十分な支援を行うためには、より効率的な支援方法や環境調整が求められる	PDCAサイクルを活用した支援の見直し モニタリングやケース検討を通して支援内容の振り返りを行い、より適切な支援へと繋がっていく
3	関係機関との連携のさらなる強化 園や医療機関、相談支援専門員、行政などとの連携は行っているが、より密な情報共有や連携体制の構築が必要である	利用児の多様なニーズへの対応 発達特性や家庭環境など子どもの背景が多様であり、それぞれに適した支援を行うためには、継続的な関わりや学び、他機関との連携が必要である	子どもの育ちや家族の安心を支える 園や医療機関、相談支援専門員との情報共有を行い、子どもの発達や生活全体を支える支援体制を図る

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026年3月31日						
FLOW香芝		利用児童数 41名				回収数 28名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	2			1対1だと危ない場面もある	ご意見ありがとうございます 1人ひとりに合わせた関わり方や支援を行って いけるように、今後も職員間で共有してい きます	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1			1		今後も安心して過ごしてもらえよう努 めていきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1					目標に繋がる支援環境や設備を引き続き 工夫していきます
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	27	1				1人ひとりの特性や発達段階を踏まえた支援を 大切にしながら、支援内容について保護者の 皆さまへ丁寧に伝えしていきます	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	28						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	28						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1			3		児童発達支援のガイドラインを踏まえ、1人ひ とりの発達や特性に応じて個別支援計画を作 成し、具体的な支援内容を設定しています 今後も保護者の皆さまと共有しながら必要に 応じて見直しを行い、適切な支援に繋げてい きます
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	2					定期的モニタリングを行い支援計画に 沿って、現状と今後の目標を共有してい きます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	24	1			3		目標や状況に合わせて活動内容を設定し ていきます
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子ども と活動する機会がありますか。	15	4		4	5		イベント等、活動での交流の機会を企 画・開催できるように検討していきます
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	27	1				今後もわかりやすく説明していくよう努 めていきます	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	18	2	1		7		今後も、保護者の皆さまが参加しやすい 研修会や情報提供の機会を設けていける よう努めていきます
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	28						引き続き連携を図り、よりよい支援に繋 げていきます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1					定期的な面談や相談の場を設定させてい ただいております
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28						
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	6		3	13		父母の会はありますが、イベントや保 護者の方向けの研修会、集まりの場を企 画、開催しております	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25			3	保護者の皆さまとコミュニケーションを大切にしながら、お子様の成長や課題について共有し、共に支援を考えていける関係作りを大切にしています 今後も相談しやすい環境づくりに努めていきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27			1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24			4	ホームページや公式ライン、インスタグラムで情報を伝えています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			1	個人情報の取扱いに、引き続き注意して管理していきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			6	待合室にマニュアルを掲示しています 訓練については実施後、掲示、公式ライン、インスタグラムで伝えています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		11	定期的に安全の確保に努めています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		4	引き続き安全の確保に努めてまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			9	今後も事故の原因、対策、防止策についてしっかりと検討していきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1		1	連れて来られるまで分かっていない。施設につくと楽しんでいる。 ご意見ありがとうございます 引き続き安心して通って頂けるように支援を提供していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			ありがとうございます 目標に繋がるよう研鑽していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		FLOW香芝					公表日	2026年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	エレベーターは設置されています			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清掃、消毒作業、安全点検は毎日行なっています			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	定期的に事業所内でのミーティングを設定し、振り返りや情報、意見共有の場を設けています			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		必要に応じて今後検討していきます		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		各種学会や学術大会の参加、事業所内外での研修参加の機会があります			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		ミーティングの設定や情報、意見の共有の場を設けています			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	基本は個別活動だが、目標の中では集団適応も踏まえたものを作成しています		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	申し送りを行い情報共有しています		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	終礼で振り返りを行い、よりよい支援に繋げています		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて、各関係機関との連携を行っています		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		7		必要に応じて行っていきます	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		7		必要に応じて行っていきます	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					必要に応じて行っていきます
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7			今年度機会がありませんでした 検討していきます	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7					
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	父母の会はありませんが、イベント等を企画し交流の場を設けています	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		ホームページや公式ライン、インスタグラムで情報を発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		今後検討していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的に訓練を実施しています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	食事の提供は行っていないが、情報把握はしています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		7		現在、対象者の方はいません	